

ベルマーク新聞 5月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表) 郵便振替口座 00100-7-56035
大阪事務所 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞大阪本社内 〒530-8211 電話 06-6231-0131 ダイヤルイン 06-6201-8031 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

2018 年度説明会始まる

5～6月、全国 95 会場で実施



東京・新宿で開かれた説明会では、来場者が体験発表などに真剣に耳を傾けていた＝NSビル30階スカイカンファレンスホール

ベルマーク運動の2018年度の説明会が5月から始まりました。今後、全国47都道府県の95会場で順次開催していきます。

開幕日の8日、東京は雨が降り出しそうな天気でしたが、会場の新宿・NSビル30階のスカイカンファレンスホールには、誘い合わせたPTAのお母さんたちなど300人を超す来場者が集まり、

熱気であふれかえりました。時間になっても会場を訪れる人波が途絶えず、開会を10分遅らせたほどです。入口に設けられたブースでは協賛会社のエスビー食品、クレハ、日本テトラパック、ファミリーマート、スミフルジャパンがパンフレットや試供品などを手渡しました。

開会後は、まずベルマーク運動のDVDが上映され、続いて協賛会社の

PR、ベルマーク財団の現状説明、運動の実務説明がありました。そして、昨年度30万点のマークを集め、2年連続東京都でトップとなった青梅学園の山下望施設長が体験発表しました。

この日は広島と福岡でも説明会が開かれ、東広島市立八本松小学校と二日市カトリック幼稚園のPTAから体験発表がありました。

説明会は今後、毎週火曜日～金曜日に、各日3～4か所で開催していきます。北海道から沖縄まで全国を回った後、6月22日の宮崎・延岡での説明会で閉幕となります。

説明会での体験発表の内容は、ベルマーク財団のホームページで順次、掲載していきますので、今後の参考になさってください。

アフガニスタンに 16 軒目の寺子屋完成

日本ユネスコ協会連盟

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が進めている「アフガニスタン寺子屋プロジェクト」の、16軒目の寺子屋が、このほど完成しました。

アフガニスタンは識字率が低く、男性社会でもあるため、女性の教育が遅れています。日本ユネスコ協会連盟は2000年代初めから、女性が学び直すことのできる拠点としての寺子屋建設と識字や収入向上の学習プロジェクトを進めてきました。ただ同国の治安はこのところ悪化しており、最近ではモスクや学校などの人が集まる場所もテロの対象になるほどだといいます。今回寺子屋が建ったのはカブール県北部のミルバチャコット郡。1月にあった開所式では、多くの軍や警察が警戒する中、政府関係者や地域の長老など100人が参加しました。

建物の銘板には「この寺子屋は教育と平和をアフガニスタンでさらに進めるために、また日本との友好の絆を発展させるために以下の皆様の支援によって建設されました」とあり、また「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」というユネスコ憲章の一節も刻まれています。

寺子屋事業はベルマークの友愛援助の対象です。銘板には「Bellmark」の文字もありました。

アフガニスタンの寺子屋では2017年度、15歳～45歳の600人以上が公用語のダリ語を受講し、日本ユネスコ協会連盟カブール事務所は3月に同国政府などによる「識字賞」を受賞しました。2018年度は、もう1カ所の寺子屋を完成させたい、としています。



ミルバチャコット寺子屋の外観

Executive Committee for the
"World Terakoya Movement"
(Secretariat: Nagoya International Center)
Mitsubishi Corporation
The Bellmark Foundation
YASASHISA PLUS (ASAHI LIFE)
ذهان مردم نشئت نما يد. (ماخذ: از اساسنامه یونسکو)
"Since wars begin in the minds of men, it is in the

銘板のアップ。英語とダリ語で描かれています。「Bellmark」の文字も。